

11月25日「コープぎふの森・関」で森林づくり活動が開催されました

令和5年11月25日（土）に、関市迫間（ふどうの森 桜の広場）地内において、生活協同組合コープぎふの秋の活動として、ふどうの森散策、クラフト作りが行われました。

これは、岐阜県が推進している「企業との協働による森林づくり」の一環で、平成22年から生活協同組合コープぎふ、関市、中濃森林組合及び県との間で「生きた森林づくり協定」を締結し、行われているものです。

活動の後には、芋煮がふるまわれ、参加者には大変好評でした。この活動が、これからも長く続くことを期待しています。



開会式

生活協同組合コープぎふの職員及び組合員とその家族、関市、地域住民、中濃森林組合、岐阜県の関係者44人が参加しました。



ふどうの森クラブによる森林散策



散策途中で、原木シイタケの採取体験



クラフト体験

アバマキの木片にペイントでサンタの絵付け（丸太サンタ）体験を行いました。



芋煮

活動後の冷えた体を温かい芋煮で癒してくれました。